

2019年6月

競技におけるアクシデントについて

日本バトン協会関東支部

- (1) 大会期間中のアクシデント（体調不良、怪我・演技中にバトンが折れる）について、再演技の判断は実行委員長・審査員長・本人・団体責任者が協議し決定をする。
棄権した場合の順位は最下位とする。[決勝の場合は決勝進出者の最下位]
- (2) 再演技を行った場合は、再演技の採点を有効とする。
ただし、再演技を行わなかった場合は、演技をした所までを採点対象とする。
- (3) 選手が自分の演技時間に出遅れ、途中から演技を行った場合は、演技を行ったところを採点対象とする。演技コートにいない場合は棄権とする。
- (4) 複数コートによる競技中に、審査員から赤旗が挙げった場合、音楽の停止は行なわずその赤旗の挙げたコートに審査員長が出向き、実行委員長と共に対応する。
- (5) その他全てのアクシデントに対し、スピーディーに且つ誠意を持って対応する。